

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	聴覚系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期 6,7限他	教室名	401
担 当 教 員	西岡隼基	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
聴覚分野の全体像を理解し、聴覚分野の基盤となる考え方を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
聴覚障害学 第3版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
予習及び復習を行うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚士という名前にある通り聴覚の知識を有することは必須である。 聴覚と一言で言えどその構造や病態は多岐に渡り、今後知識を増やしていくための基礎を築いていただきたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚系の受容と認知の違いについて説明することができる	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	聴覚の末梢と中枢について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	両耳聴効果を説明することができる	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	音源定位、カクテルパーティ効果について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴器の発生について述べることができる	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	聴器の発生について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚の発達について説明することができる	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	乳幼児の反射・反応について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝音器官の構造について説明することができる	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁 を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	外耳・内耳の構造を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝音器官の機能について説明することができる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	外耳・内耳の機能を学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感音器官の構造について説明することができる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	内耳・後迷路の構造を学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	感音器官の機能について説明することができる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	内耳・後迷路の機能を学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝音難聴の代表疾患とその病態について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	伝音難聴について学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	内耳性難聴の代表疾患とその病態について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	内耳性難聴について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	後迷路性難聴の代表疾患とその病態について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	後迷路性難聴について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	難聴の程度分類と障害等級について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	難聴の程度分類と障害等級について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝音難聴と感音難聴の病態の違いについて説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	伝音難聴と感音難聴の聴こえについて学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	混合性難聴の病態について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	混合性難聴について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚聴覚二重障害の病態とコミュニケーション手段について説明できる	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	視覚聴覚二重障害について学ぶ		